

令和5年11月14日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
 (コード2388 東証グロース市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2161)
 当社の親会社 昭和ホールディングス株式会社
 代表取締役社長兼最高経営責任者 此下 竜矢
 (コード番号 5103 スタンダード市場)

令和5年9月期連結業績及び個別業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、令和5年9月期(令和4年10月1日～令和5年9月30日)の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和5年9月期 連結業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和4年9月期)	682百万円	85百万円	160百万円	55百万円	1.54円
今回発表業績(B) (令和5年9月期)	765百万円	36百万円	△486百万円	△513百万円	△13.69円
増減額(B-A)	83百万円	△48百万円	△647百万円	△568百万円	—
増減率(%)	12.2%	△57.2	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、コンテンツ事業が順調に進捗したことから83百万円増加し765百万円(対前年同期比12.2%増)となっております。

営業利益は売上高の増加があったものの固定費が全般的に増加し、前期には計上していない訴訟費用が大きく影響したことから48百万円減少し36百万円(対前年同期比57.2%減)となっております。

経常利益は持分法適用関連会社でありDigital Finance 事業を営んでいるGroup Lease PCL.の営業状況に鑑みのれん相当額を減損処理したことから493百万円の持分法による投資損計が発生し、647百万円減少し△486百万円(前年同期は160百万円の経常利益)となっております。

上記の要因の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は568百万円減少し△513百万円(前年同期は55百万円の純利益)となっております。

3. 令和5年9月期 個別業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和4年9月期)	682百万円	108百万円	148百万円	△629百万円	△17.60円
今回発表業績(B) (令和5年9月期)	687百万円	53百万円	9百万円	△217百万円	△5.80円
増減額(B-A)	4百万円	△55百万円	△139百万円	412百万円	—
増減率(%)	0.7%	△51.1%	△93.6%	—	—

4. 差異の理由

売上高は、前年同期との大きな差異は発生しておりません。

営業利益は固定費が全般的に増加したことから55百万円減少し53百万円となっております。

経常利益は株式発行に伴う費用が発生したこと等から139百万円減少し9百万円となっております。

当期純利益につきましては、前年同期は子会社のEngine Holdings Asia Pte. Ltd. への貸付けに対する貸倒引当金繰入額を737百万円計上していたところ、当事業年度は同社への貸付けに対する貸倒引当金繰入額を225百万円計上することとなり、412百万円増加し△217百万円（前年同期実績は△629百万円）となっております。

以 上